

医療従事者に感謝の証し

店内ポスター寄贈

高校生の
きょうだい 大垣西濃信金に

新型コロナウイルス感染症の治療に当たる医療従事者らコロナ禍で働く人たちへの感謝を表すバッジやステッカーなどを作って応援する活動をしている大垣市光哉さん(17)は、兄の川合



年〓と妹の紗矢さん(15)〓大垣日大高1年〓。ステッカーとポスターはカラフルなハートのデザインで、活動に賛同したサンメッセから2人に贈られたものを同金庫に寄贈した。

現金自動預払機(ATM)のうち約100カ所にステッカーを貼り、ポスターは全営業店の窓口で透明なデスクマットに挟んで来店客にPRする。

同市恵比寿町の本部で贈呈式があり、ステッカーとポスターを栗田順公理事長に手渡した。光哉さんは「働いている人の意見を聞きながら活動を広げたい」とあいさつ。栗田理事長は「感謝の気持ちを持って、われわれも取り組んでいきたい」と話し、活動資金として5万円を贈った。5万円はステッカーやチラシの作成費用に充てるといふ。

(鈴木隆宏)